



裸眼3次元ディスプレイ

Glasses-Free Medical 3D Display

通常の3次元画像は画像に影を付けたり画像を左右に振る等の操作によるか、特殊な眼鏡を用いて立体的な感覚の画像を呈示したものでありましたが、今回展示する3次元画像は裸眼で空中にあたかも浮いているような3次元画像が表示されるシステムです。

医療用画像も2次元から3次元表示へ

手術を行う際、CTやMRIの3次元データは非常に重要であります。立体に表示するディスプレイがなかったため、2次元表示上で画像に影を付けたり、画像を回転させたり、特殊な眼鏡を用いる事で立体認識を行っていました。そのため立体認識には膨大な知識と時間が必要でした。

この問題を解決するために、テレビ用に開発した「めがねのいない裸眼3次元ディスプレイ」の臨床研究を開始しました。

裸眼3次元表示システム

今回の「めがねのいない裸眼3次元ディスプレイ」は、ディスプレイを見るだけで誰でも立体認識ができる画期的なシステムです。

この裸眼3次元表示システムの原理は、ハイビジョンテレビより9倍細かい画素密度で、CTやMRIなどの3次元画像を同時に9枚作成し、ダイレクトに3次元表示をすることです。そのため、従来の2次元表示では分かりにくい細かな血管の前後関係などを簡単に把握することが可能となりました。

どうぞ、実際にご確認下さい!

